

注意!!

ネガティブオプション (送り付け商法)

ネガティブオプションとは、消費者が注文もしていないのに業者が勝手に商品を送り付ける商法です。

《普通郵便で送り付ける場合》

送り付けられた商品の取扱いは

代金を支払う義務も、商品を返す必要もありません。ただし、商品の保管を必要とする期間があります。

発送人に商品引き取りを
請求した時 7日間
請求しない時 14日間

その後の処分は自由です。

※留守中に商品を置いていった場合も該当します。



《代金引き換え郵便を悪用した場合》

その手口は

郵便物が代金引き換え郵便で自宅に配達される。

↓
名宛人の家族は本人が注文したものと思い、疑問をもち、代金を支払って受け取ってしまう。

↓
名宛人である本人は、まったく注文した覚えがないので、業者に苦情を言いたい、連絡先が不明。

↓
郵便局に返金を求めても、原則として郵便法で「正当な交付」が完了しているため、返金されない。ただし、支払い直後の時は、郵便局へ相談してみると良いでしょう。

※郵便物の受け取りにあたり

1. 注文品かどうか不明の場合 → 保留できます。
2. 注文でない場合 → 受取り拒否ができます。



アドバイス

△安易に支払ってしまうと購入したものとみなされ、返金は困難です。

△必ず本人に確認しましょう。

歩数計(万歩計)を調べてみました

運動は、肥満の防止や肩、筋肉の強化、肺や心臓の働きを良くする様々なメリットがあります。歩くことは、実際の生活の中で手軽に出来る運動として見直されており、それに伴い、歩数計を使う人も多くなりました。そこで、商品を購入する際に参考になるよう、性能、使用性などを調べてみました。

テストしたもの

歩数計(デジタル) 8 銘柄 (価格980~3,000円)

表示

全銘柄に、製造または販売者名・仕様・保証・使用方法・測定上の注意などはありました。

性能

平面歩行(歩数による違い、装着位置による違い)、すり足、階段の上り下り、距離などを実際に歩いてみて、カウント数の違いを調べてみました。

・平面歩行では、歩数が多くなると、カウント数との差が大きくなります。

例えば、5,000歩では、誤差が約±5%(±250歩)ありました。

・取扱説明書どおりに装着しない場合、誤差が大きくなり、カウント数値は期待できないと思われれます。

・ジョギングについて、

ジョギング機能付きのものは、正確に表示しました。

ゆっくり、すり足、階段の上り下り、立ったり座ったり、距離などは、正確な表示数が出ないことを承知しておくとう良いでしょう。

使用性

機種のりセット操作がしにくいものや、身体に固定する場合にクリップが硬く操作がしにくい機種、逆にゆるくて落ちやすい機種などがありました。

アンケート調査

約70%の人が、歩数計を使った(使っている)ことがあり、また、3,000~10,000歩を1日の目安としている人の割合は約90%でした。

まとめ

・多機能の歩数計は、使用方法が煩わしくなります。歩数を知るだけなら歩数表示だけのものが使いやすいでしょう。使用目的に合わせた商品を購入しましょう。

・歩数計の取扱説明書に書かれている位置にしっかり着け、姿勢を正しくリズムカルに歩くことが大切です。